

令和4年5月18日

お客様各位

株式会社ジェネストリーム

安否確認 bot for LINE WORKS ご契約にあたっての重要事項説明

安否確認 bot for LINE WORKS は LINE WORKS のシステムを利用しており、これに伴う仕様の制約がございます。ご利用開始前に必ずご一読下さい。

1. 従業員の住所判定について

安否確認 bot for LINE WORKS は気象庁の発信する災害情報を受け取り、その災害の発生した住所にいると推定される従業員に対して安否確認を自動的に行います。

しかしこの住所判定において弊サービスのようなサードパーティーサービスが GPS を自動的に収集することは、LINE WORKS のセキュリティ上禁止されているため、住所判定におきましては、LINE WORKS の従業員プロフィールにある「勤務先」を参照しております。そのためご利用の際は必ず「勤務先」へ、その従業員の方が主に勤務しているオフィスの住所をご登録いただけますようお願いいたします。

なお「勤務先」で登録できる住所は1件となります。複数住所を登録頂く場合は安否確認 bot for LINE WORKS にて1従業員当たり最大10件の住所をご登録いただける「複数住所登録機能」をご利用下さい。「複数住所登録機能」では管理者または従業員どちらからもご利用頂くことができ、登録された複数住所のいずれかで災害が発生した場合にも安否確認が発報されます。

2. ベストエフォート適用について

LINE WORKS API の仕様により、弊サービスのようなサードパーティーサービスから自動的にメッセージを送れるのは、1分間に200通まで制限されております。(LINE WORKS 上での通常のメッセージ送信においてはそのような制限はありませんのでご安心ください。)

安否確認 bot for LINE WORKS から安否確認を配信すると、1名あたり2通のメッセージを送信致しますが、従業員が100名を超える場合、約10秒でメッセージ自動送信制限に当てはまるため、次の設問が配信されるまでにおよそ1分程度遅延が発生します。そこで安否確認 bot for LINE WORKS では従業員の方に不安を与えないよう、一斉配信量や設問数、管理者の数などから自動的にスコアを算出し、一定スコアを超える場合に「ベストエフォート」を適用しております。「ベストエフォート」が適用されると、bot による一問一答形式の回答ではなくブラウザに遷移して回答するように促されます。これにより bot のメッセージ配信制限を回避しながらスムーズな回答を回収できます。

以上